

広報伊方町



デイサービスセンター完成予想図

建設工事はじまる

デイサービスセンターなど

来年3月に完成

デイサービスセンター
 在宅の身体が虚弱な高齢者を対象に、リフトバスによる通所の方法によって当センターまで通っていただき、健康チェックや相談、日常動作訓練などのサービスを提供することによって、高齢者の自主的の生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図ることを目的とし、更には、家族の方々の身体的、精神的二苦の軽減を図るための施設です。

本町に在住している方で、おおむね65歳以上で、身体が虚弱なため、日常生活を営むのに支障のある方が利用できます。

鉄筋コンクリート平屋建、延面積549.74㎡で、工事費は、1億3390万円で建設します。建設場所は、保健センター横に建設が進められており、郡内で初めての町

発行所 町
 伊方町 豊後川西字和郡伊方町港通
 〒796-03 番伊方局38-0211
 編集長 豊後川西
 印刷所 豊後川西
 社 豊後川西
 八幡浜市松竹 22-0144

人がいて
 ●夢がわき
 ●流れが変わり
 ●新しい町が
 つくられる

今月の紙面
 二面……お年寄りの皆さん
 1700人長寿を祝う
 三面……県消防法大会
 第15分団 準備優勝
 四面……住民の声を行政に
 行政相談所の開設
 無料法律相談所の開設

保健センターの横にデイサービスセンターの建設が始まっています。これからの高齢化社会に対応していくために、町の重点施策のひとつとして大きく取り上げられているもので、完成は3月中旬の予定です。

また、九町小学校横に、九町地区で最初の公営住宅も建設されています。12月が入居でき、完成は3月中旬の予定です。

そこで、どのような施設ができるのかをここに紹介します。

公営住宅
沖の城団地
 公営住宅「沖の城団地」は、九町地区で、最初の公営住宅として、九町小学校横に建設が進められているもので、鉄筋コンクリート3階建、延面積946.92㎡で完成しますと12月が入居できます。

また、一戸当たりの床面積は76.55㎡(二戸当たり住居面積は64.19㎡)となっています。

間取りは、6畳の和室が2間、洋室1部屋、台所、バストイレ付の3DKです。

また、附属施設として、子供の遊び場なども設けられており、建設工事費は、1億6892万円となっています。

ためのリフト付き浴槽なども設けられています。

また、デイサービス専用バスで自宅付近まで送迎を行うことになっています。

実施日、申込方法、利用料金等、詳しいことについては、別送、広報やパンフレットを通してお知らせすることになっています。

総合起工式
 9月3日、公営住宅「沖の城団地」、デイサービスセン



公営住宅「沖の城団地」起工式

完全週休2日制の導入
 現在検討中

労働時間の短縮を目指す国の施策により、国の機関につきましては、すでに、今年の5月から完全週休2日制が実施されています。

また、県におきましても、7月から、完全週休2日制の導入が図られています。

本町におきましては、国の施策と県の指導により、現在、完全週休2日制の導入時期を検討しております。

この週休2日制導入の検討にあたっては、「勤務は5日、サード日は7日」をキャッチフレーズとし、毎週土曜日と日曜日に、「窓口業務サービスコーナー」を設置するなど、実施するにあたって、町民の皆さんへの行政サービスの低下させないための条件整備や行政事務の簡素化、効率化を図るための事務処理体制の整備を行なっているところなどです。

なお、各種団体や町政懇談会等を通じて、町民の皆さんの意見を十分、反映させるように努めてまいります。

また、実施時期等、詳しいことについては、後日、広報伊方町やパンフレット等を各戸に配布し、お知らせすることになっていますので、ご理解と協力をお願いいたします。

検討中

**故井上吉佐太氏に
 勲六等瑞宝章**

伝達式には、長男の井上弘文氏が出席され、伊賀知事から勲記と勲章が伝達されました。

故井上氏は、昭和26年に米、伊方村議会議員を二期、合併後の伊方町議会議員を2期務められ、地方自治の伸展と、地域の発展に貢献されました。

また、伊方町漁業協同組合組合長などの要職を歴任され、地域漁業の振興に、多大な貢献をされました。

去る6月9日に逝去された故井上吉佐太氏(豊之浦)に、生前に地方自治に尽くされた功績に対し、勲六等瑞宝章が下賜(かし)され、9月10日、県庁で伝達式が行われました。



故 井上吉佐太氏

お年寄りの皆さん

17000人長寿を祝う

9月15日は、敬老の日でした。これまで多年にわたって社会に貢献してこられたおじいちゃん、おばあちゃんをいたわり、長寿のお祝いをする日です。こうした機会に、老人、老後の問題を自らの問題として受けとめ、生きがいのある社会づくりに努めましょう。

敬老の日

我が国の平均寿命は、昭和20年頃までは、50歳にも満たない状況でした。しかし、戦後、平均寿命は、どんどん伸び

び、現在では、「人生80年」と言われるまでになりました。30年も長く生きられるようになった私たちのライフサイクルは、人生50年の時代に比べて、大きく変わってきています。老後は、これまで「余生」

＊ 寿

であったものが、「第2の人生」のスタートに変わってきているのです。また、西暦2020年には、国民の4人に1人が、お年寄りになると言われています。今年、本町で、満64歳以上のお年寄りは、約17000人余り。こうしたお年寄りの皆さんをいたわり、長寿のお祝いをするのが、敬老の日です。

健康老人

今年も、町内の国民健康保険加入者の中で、1年以上入院などで、診療を受けなかった保険完納者で70歳以上の方々を「健康老人」として表彰、金一封を贈るとともに、これからの健康を祈りました。今年、93人(昨年77人)

- 〔大浜〕 谷藤勲、山下佳祐、安堂スミ子
- 〔中之浜〕 二宮廣海、辻朝朝、兵頭熊一
- 〔仁田之浜〕 畑中彌三長、渡辺マサエ
- 〔河内〕 清水久光、上田多丸
- 〔谷内〕 岩茂、米田初子、上野カヤコ、渡辺シゲコ
- 〔湊浦〕 佐々木亀吉、松岡信芳、山本兼弘、藤堂敏盛、広瀬ノブコ、藤堂ノブラ、松下ツヤ子
- 〔湊浦二〕 吉川興三、吉川

＊ 婚

昭和18年に結婚して50年、今年、めでたく金婚式を迎えられた23組(昨年12組)の皆さん、おめでとうございました。

記念に、町から、金盃とお祝いを贈りました。これかからも、おしどり夫婦として、これからの長い人生を歩んでください。敬称略



湊浦敬老会の中での祝賀会(湊浦公民館)

町内の最高齢者は、松澤浪太郎さんの96歳で、記念に、町から紫座布団とお祝い状が贈られました。また、下表には、毎年恒例の「お年寄り番付」下欄では、金婚式米寿、健康老人の皆さんを紹介いたします。

松澤浪太郎さん(湊浦)が今年の長寿町内一

今年もお年寄り番付を作ってみました。これをみますと、東方の横綱は松澤浪太郎さん(湊浦)で96歳、西方の横綱は角井ユキさん(湊浦)で95歳でした。

お年寄り番付

(平成4年9月1日現在)

東 方 (男)				西 方 (女)			
住所	氏 名	年齢	番付	住所	氏 名	年齢	番付
湊浦	松澤浪太郎	96	横綱	湊浦	角井ユキ	95	95
大成	大成金右衛門	94	大関	川永田	兵頭ムメヨ	95	95
二見	成木久之	93	関脇	古屋敷	濱田サイ	94	94
須賀	岡村吉治	93	小結	豊之浦	中田百歳	94	94
畑	坂戸朝三郎	92	前頭1	川永田	畑中イセ	94	94
豊之浦	坂田浦太郎	92	2	二見	神山マサヨ	93	93
中之浜	流内芳太郎	90	3	河内	藤堂フクヨ	93	93
西	武内莊平	89	4	二見	金山ヲセキ	93	93
豊之浦	谷口春多	89	5	鳥津	道元カノ子	93	93
豊之浦	河野太郎	89	6	鳥津	末光チノ	93	93
田之浦	山下伊勢善	89	7	河内	谷内テツヲ	92	92
豊之浦	中田進	89	8	龜浦	安部マツエ	92	92
古屋敷	大山友好	89	9	川永田	阿部ヤスノ	91	91
中之浜	竹村普一	89	10	小中浦	末光チノ	91	91
中之浜	中田平男	89	11	奥	渡辺マツミ	91	91
加周	岡西秀敏	88	12	二見	大野ヲトラ	91	91
加周	笹田興之吉	88	13	大浜	山田ムメヲ	91	91
加内	山口吉晴	88	14	田之浦	松江サト	91	91
龜浦	安部菅一郎	88	15	川永田	中野ヨリエ	91	91
鳥津	藤崎日	88	16	湊浦	松澤	91	91

農業に利用できる パソコン技術を

八西農業パソコン研究会



農業にパソコン利用を

農業に利用できるパソコン技術の取得をと、パソコン教室の農業者対象コースを修了したメンバー16人が毎月2回の割合で来年の税務申告に使える資料の作成や経営分析などを行っています。「パソコン教室の授業の中で習ったことはあるが、今回のような組織を作ったのは初めて。夜6時半から9時半まで、研修センターの空いている時間を利用して行いたい」と森元修治会長は話していました。

- 〔小中浦〕 大富高太郎、石崎朝道、大本福太郎
- 〔中浦〕 矢野太郎市、矢野浩
- 〔西川惣五郎〕 山下ミドリ、福島ミツエ、西川キク子
- 〔川永田二〕 菊池家光、吉川寅吉、竹嶋勉、畑中長満、畑中イセ、阿部ヤスノ、菊池茂、梶谷サカエ、清水コメ、竹嶋トキコ、梶谷カメ子
- 〔川永田二〕 松下福一、浅倉サカエ
- 〔豊之浦〕 中田磯太、中田百歳、井上イワ子、渡辺ミサコ、福島マサコ
- 〔伊方越〕 崎須賀正光、神野植一郎、成田カヲラ
- 〔龜浦〕 向井マツエ、宮本ミノル
- 〔奥〕 三根生義秀、池田傳義
- 〔畑〕 二宮カズエ、田村ナカエ
- 〔須賀〕 岡村吉治、米沢ハツ子、徳内千歳、加藤信枝、田口チエ子、岡村音代
- 〔久保〕 林キヨ子
- 〔西〕 徳田三吉、松田関太郎
- 〔二見〕 金山鶴蔵、山田マス
- 〔加周〕 岡西秀敏、土佐玉市
- 〔田之浦〕 山下伊勢善、山下春
- 〔鳥津〕 鳥津清士、鳥津高吉
- 〔鳥津保〕 竹上ミチ子
- 〔山貞〕 北野カネ子、山岡光
- 〔山〕 上田カノ子、吉田タカ子
- 〔鳥津〕 鳥津清士、鳥津高吉
- 〔鳥津保〕 竹上ミチ子
- 〔大成〕 久保茂、高岸久之丈
- 〔義〕 志賀幸雄、中村武志、神古田彌作

民話と伝説

取材先/湊 浦 捕 作/岡村 豊
捕 絵/山本一路(湊浦出身)

85

長寿の秘けつは!

西方横綱

角井 ユキさん
(湊浦=95歳)

楽しかった
そろめん流し



家の引越しが終わったばかり。長生きの秘けつは、よくよまないこと、お盆に、子供たちが、平家谷までそろめん流しに連れて行ってもらったことが楽しかったとか。よく寝て、よく食べ、よく美容院等へ行くおばあちゃん。楽年を楽しみにしている様子。

東方横綱

松澤 浪太郎さん
(湊浦=96歳)

結婚75周年が
楽しみ



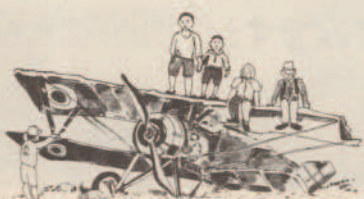
何でも好きでより好みをしないのが長生きの秘けつとか。雨が降らなければ、毎日といってよい程天理教へかよっている。来年で結婚75周年を迎えることが何よりの楽しみというおじいちゃんも明酒が大好き。おばあちゃんも健康で、今年の長寿番付欄に初登場。

水上飛行機の

プロペラ発見

湊 浦

すべく余暇を惜しんで、自ら発見、考案した飛行原理に基づく「玉虫型飛行機」を完成し、世界に先駆けてゴム動力式模型飛行機の飛行に成功したのであります。これはアメリカの飛行機製作者ライト兄弟が複葉飛行機を研究し、人類最初の動力による飛行に成功する十二年前のことです。その機体の残骸も今はなく、



戦後、日本の民間航空が再開して、今年で四十周年を迎えるのを機会に、これまでの「航空日」としてきた九月二十日を、新たに「空の日」と改めたのです。今から百一年前の明治二十四年(一八九一)四月、二宮忠八翁は軍籍にありながら、幼時から空への憧憬とその夢を実現、大破した機体の残骸を持ち帰

唯一、木製のプロペラ(全長二・九五米)だけになりました。今考えたら残念やなあ。妙楽寺の祖父の姉嬢で、大正十一年(一九二二)に、わが国最初の定期航空を創設したのが井上長一氏です。彼は、ある日忙ししい漁村の境港の海浜に立って胸に描いた夢はこうでした。目の前の海岸が広い滑走路に見え、壮大な格納庫の屋根が空に浮かび、海上には太陽に輝く巨大な翼をピンと張った大飛行艇が浮かんでいる。

航空輸送―それが若い日の夢じゃったと、「やろう。航空輸送を―」まだ誰も思いつかなかったこの大事業を始めようとして密かに誓ったそうです。この時、建國二千五百九十七年、多額の私費を投じて日本航空輸送研究所を創設し、飛行機の購入、操縦士の養成と幾多の苦難の道であったが、航空日本を築くための先遣協力者 佐々木弘宗氏(湊浦)

米 寿

得能 フジエさん
(畑)

すききらいは
長寿の敵



長生きをしようとせば、すききらいをしないこと。父親が敵しかったのと、終戦当時は、その日その日をどうのうに過ごそうかと思ひ、非常に苦勞した。昔の思い出と言え、加周池の近くで、しみじみ貝をとりながら、友だちと水遊びをしたことである。

金 婚 式

覚 一さん
シズエさん
(二見)

米寿とともに



友に歩んだ50年の思い出ははるか遠くに残る記憶。一番大切なことは、人間は、一人だけでは生きていけないこと。七難九厄を乗り越えて、今まで長生きできた。今の楽しみは、伊方杜氏の本を読みて、昔を思い出したこととか。

「長寿番付、金婚式、米寿の中から、次の方々に、長生きの秘けつとか、日常の生活ぶりを伺いました。」

県消防操法大会

第15分団 準優勝

消防団員が迅速かつ的確な消防技術を競う県消防操法大会が8月23日、県消防学校大規模訓練場であり、小型動力ポンプの部に出場した第15分団(西・久保)が井上喜樹分団長の指揮のもと、すばらしい演技を披露、みごと準優勝を果たしました。



準優勝を果たした第15分団

夏期酒造講習会

今回で78回目

西宇和郡杜氏組合主催の夏期酒造講習会が8月24日と25日の両日、地域振興センターで開催されました。今回で78回目を迎える講習会には、高松国税局の嶋崎鑑定官室長を講師に迎え、「分

酒造技術を熱心に受講



攻藤三郎(大浜)
山口寿男(亀浦)

歳時記

サンマ

食べ物に季節感がなくなったといわれる昨今ですが、サンマは秋の味覚の代表格です。サンマは、秋刀魚と書きます。体長40センチほど、背の部分が青黒色で腹のほうは白銀色、細長く背びれが後ろのほうについていて、刀に似ているところから、こういう字を書くのでしよう。

サンマの呼び名は、地方によって実にさまざまです。サイラ、サエラ、サイレ、サイレンボウ、サイライワシ、サザなど、最初にサのつくのが多いのですが、パンジョウ、カドなどと呼ぶところもあります。このように、いろいろと呼び名があるのは、それだけサンマが古くから各地で親しまれ、食べられていたからでしょう。

サンマが秋の味覚とされているのは、毎年秋に産卵のために千島列島付近から南下を始め、東北、関東の沖を通過するこの時期に、漁が盛んになるからです。捕れたサンマの20%は生で利用され、60%は冷凍となり、そのほかは缶詰などになります。冷凍物はマグロ漁などのエサにも利用されていますから、サンマのおかげでマグロの刺し身や、すしを食べていることになるのですね。

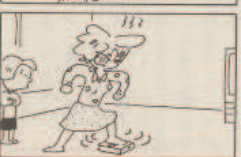
魚を食べることは、成人病の予防に効果があるといわれていますので、もっと魚に親しみたいものです。

10月は、「食生活改善普及運動月間」です。成人病の予防には、日ごろの食生活の管理が大切です。特にカルシウム、食塩や脂肪摂取量のコントロールなどに注意したいものです。



大阪市東住吉区坑全8の4の16三角公園前にお住まいの上田泰司さん(大浜出身)から1万円
横浜市港北区篠原町1062にお住まいの菊池悦也さん(川永田出身)から1万円
大阪府摂津市東栗原2の27の20にお住まいの上田次吉さん(河内出身)から1万円
松山市末町甲17にお住まいの高賀安男さん(共同興産)から3万円
広報編集費用にご寄附いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

さわやか君



事業者のみなさんへ

労働保険の加入はおすすめですか

労働者では、10月1日から10月31日までを労働保険適用促進月間」と定め、「守っていますか」の社会的ルール、入っていますか労働保険」の標語のもとに、労働保険(労災保険、雇用保険)の未加入事業所の解消を全国的に図っています。

愛媛県内の使用者は、労働者に対してこの最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。
1日4,152円、1時間当たり520円です。

最低賃金 4,152円

お礼

大阪市東住吉区坑全8の4の16三角公園前にお住まいの上田泰司さん(大浜出身)から1万円
横浜市港北区篠原町1062にお住まいの菊池悦也さん(川永田出身)から1万円
大阪府摂津市東栗原2の27の20にお住まいの上田次吉さん(河内出身)から1万円
松山市末町甲17にお住まいの高賀安男さん(共同興産)から3万円
広報編集費用にご寄附いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

10/11~17

住民の声を行政に

行政相談所の開設

無料法律相談所の開設

「役所への苦情や要望は、直接言いくらい」。こんな思いをしたことはありませんか。このように、ぜひ、行政相談委員にご相談ください。

行政相談委員は、総務庁長官の委託を受けて、国の行政機関を始め、JRやNTT、などの苦情や要望などを受け付け、公平な第三者の立場で問題解決のお手伝いをします。住民の声に耳を傾け、それを行政に生かす。それが行政相談委員の仕事です。本町でも、その一環として、10月7日午後1時から5時までの間、町民会館3階和室において、**無料法律相談**を開催いたします。

町内の交通事故

(9月1日現在)
発生件数.....66件
(8月...15件)
負傷者数.....21人
(8月...4人)
9月から、学校では毎月第2土曜日が休みになりました。子供たちの休日の過ごし方について論じられるところで、家族が楽しく有意義に過ごすため、運転される皆さんも歩行者の皆さんも交通ルールを守りましょう。
伊方・町見駐在所

人の動き

平成4年8月1日現在
世帯数2,619戸(-1戸)
人口7,853人(男3,832人(-5人)、女4,021人(-8人))
えんおすび
平成4年7月1日
17月31日
氏名 本籍地

生ゴミ処理容器の購入に補助
町内の各家庭から排出される生ゴミの減量化を図るため、昭和63年度から、生ゴミ処理容器の助成事業を実施していますが、本年も引き続き、左記価格で、購入を希望されます方は、各地区の婦人会支部長さん(無組織の支部は区長さん)に取りまともをお願いし、**【問い合わせ先】** 役場生活環境課(T E L 38-0211)

容器の種類	あっせん価格	町負担金	個人負担金
コンポスター190型	6,180円	3,000円	3,180円
ながらコンポ180型	6,180円	3,000円	3,180円

毎日入れても一杯にならない
コンポスター内で生ゴミの満ちていくようす。
第1週(7日目) 第3週(21日目) 第6週(42日目) 第10週(70日目)

台所で発生する生ゴミは65-85%は水分と重われています。投入された新しい生ゴミは下部の古い生ゴミを押し潰し水分は地中へ吸収されます。又地中のバクテリアの働きにより有機質のゴミは発酵、分解をし、その容積が大巾に減りますから上図で示す様に、いくら投入してもなかなか一杯になりません。

死亡者 年齢 住所

家庭の教育力を

高めるために

学校との支え合い

家庭と学校との連携の糸口

今日、家庭と学校の間心の通い合う暖かい交流と子育てにかかわる情報のやりとりが緊密になされているだろうか。やはり、少ないのではないだろうか。もちろん、子育てがかかわることは、親や教職員は確かに理解している。しかし、現状をみると、なかなかいい関係ができていない。親はつい教職員や学校のやり方や考え方に不満をもち、時には批判にいたる。教職員は教職員で親の子育ての

過保護や放任に対して、その親に直接面と向かっては言えないが、もう少し親がしっかり子育てを考えたくれれば、それが現状である。そこで、こうした連携の必要性や意義を十分に理解し、家庭と学校の間今日の関係のあり方を改善していくことが、子育てにかかわる重要な課題となっている。

では、連携の糸口として、どのようなことが考えられるか。その一つは、相互の理解を深める工夫が求められる。学校における教育の内容について家庭が理解し、学校で学

習したことを家庭の中で生かす場や機会を設けていくことである。例えば、小・中・高校の家庭科の授業で学習したことをどのように家庭生活の場で実践すればよいか、その意義やその実践の姿の一端にふれている。また逆に、学校は家庭の意見や希望をよく理解し、受け入れ、日頃の教育実践の中に取り入れていくことも大切である。従来、学校からの家庭への広報活動は比較的活発であったが、他方、家庭の意見や考えをよく聞き、学校経営の改善に生かす活動はもう一歩ではなかった。

もう一つは、協力的体制をつくり、相互の意思の疎通を図り、協力して子育てに取り組むことである。これは、地域をあげての青少年の健全育成に対する取り組みの重要性と必要性が強く唱えられている。今日、とくに重要である。今日、各地域の学校の中に、「学校、家庭連携推進会議」などの組織が作られる状況がみられる。こうした組織がない場合でも、既存のPTA組織が、保護者と教職員との交流を兼ね、充実した活動を積み上げている。例えば、PTA新聞の発行や広報、学校行事への関わりを通して、豊かな成果やPTA活動に生まれている。さらに、授業参観や学校行事への保護者の参加場を利用し積極的に教職員と親が交流していくことが出来る機会として位置づけて、その交流も形式的、慣習的なものではなくて、内容のあるものに工夫していくことが求められる。

がんばり！川永田老人クラブ

ペタンクで全国大会へ



菊池さん 阿部さん 宮脇さん 中由さん 竹内さん 全国大会では一つでも多く勝進みたいと抱負を語っていました。

十月三十日から十一月三日まで山梨県三珠町で行われる「おんりんピックの第五回全国健康福祉祭やまなし大会」に昨年（漢浦老人クラブ）に続き、川永田老人クラブが出場することにになりました。

出場権を得たのは、昨年、九月に松山で行われた愛媛県ペタンク選手権大会シニアの部に出場。試合は、県内でも伊方町のペタンクのレベルはトップクラスと言われる程度で、関係者の方々より助ま

り、関係者の方々より助まるといって、練習に熱が入ってきており、全国大会では一つでも多く勝進みたいと抱負を語っていました。



全国大会を前に練習に励む川永田老人クラブ

会場は遠隔地でもあり、大会中は言うに及ばず、練習中も充分健康には気をつけられて御健闘の程をお祈りします。

今年度、四月から九月までに送られてきた新聞、広報誌を見てみると、単位PTAのすばらしい活動の展開が目まはるおもしろい。各単位PTAの具体的な活動の主なものは、調査広報部の発行する新聞、広報誌を読めば分かる。自分のPTAの活動状況、児童生徒、PTAの実態問題点等を把握し、他校の新聞、広報誌と比較してみると、問題点について、今後どのように解決していけばよいかを学校、講座、各専門部会資料として、届けられた情報を活用しよう。

①学校行事やPTA行事に参加しよう
子供の教育は、学校・家庭が信頼関係のもとに密接な連携を図りながら進めていかなければならない。

②届けられた情報を整理しよう
今年度、四月から九月までに送られてきた新聞、広報誌を見てみると、単位PTAのすばらしい活動の展開が目まはるおもしろい。各単位PTAの具体的な活動の主なものは、調査広報部の発行する新聞、広報誌を読めば分かる。自分のPTAの活動状況、児童生徒、PTAの実態問題点等を把握し、他校の新聞、広報誌と比較してみると、問題点について、今後どのように解決していけばよいかを学校、講座、各専門部会資料として、届けられた情報を活用しよう。

③学級懇談会で共通話題として新聞、広報誌を活用
同級生といる条件にある学級懇談会は、少人数で気軽に話し合える場である。自らの子供のことを中心にしながら新聞、広報誌からの時報を活用（再利用）して学習したり意見交換をしてほしい。苦労して作成された、提供された情報である。情報を生かしてほしい。

町見地区ふるさと講座受講生募集中!

- 受講対象者 社年層を中心とする一般成人
- 会場 主として町見公民館
- 講座内容 (例)
 - ・町政に学ぶ
 - ・産業振興とまちづくり
 - ・教育講座
 - ・町外研修
- 開催回数 10~3月の間に4回程度(19:30~21:30)
- ※受講を希望される方は、町民公民館(39-0212)へご連絡ください。

町内小学校陸上競技大会

とき 平成4年10月8日(木)
午前8時30分から
ところ 町見中学校グラウンド



午後からは、滑床溪谷、森の国ホテルを視察し、研修を兼ねました。

生活学校で町外研修

九月十七日に伊方町生活学校の主体メンバー二十四名で松野町の森の国ガラス工房へ町外研修を実施しました。この森の国ガラス工房は、リサイクルガラス工房で、家庭ゴミのガラスビン類を収集、洗浄、色毎に分別、粉砕の作業によって原材料を供給しており、町内廃出ガラス類で年間約八十トンあるそうです。今回メンバー達は、工房の見学と一日体験エピソードのサンドブラストに挑戦しました。このサンドブラストとは、ガラスの皿に貼ったビニールシートに絵を書き、カッターナイフで切り抜いて露出させ、それを金剛砂を吹き付ける機械に入れればきれいな模様が出て、オリジナル作品が出来るのです。始めは何か出来るのか分らなかったメンバーも仕上がったガラス皿を見て満足そうでした。それと、何げなく燃物収集日に捨てていたガラスビン類がこんなに美しいガラス工芸に生まれ変わるのを見て、牛乳パック、トレー等のように、ガラスビン類の収集についても考えさせられました。

PTA、学校行事に参加し、子供の教育に相互理解を(平成3年有斐小の収穫祭)

生涯学習であすを拓く

ほくたち私たちの

生涯学習のはじまり 学校週五日制

九月からスタートした学校週五日制は、自分と考え、判断し、行動できる力を重視する新しい学力観のもとで学校教育そのものが変わろうとするものです。この制度は、学校だけでなく町民の間に週休二日制が定着していく先がけとも言えます。

六年 山本梨代

「あ、つれた」ときみこちゃんの声がした。私はいいなあ、と思いきや、海に入れた。おじいちゃんが、「もっと深くせんと」とアドバイスをくれた。さおを深く入れて、ひよいとひいてみた。二、三回ひいてびくっとしたときにあげてみると、ハゲがつかれていた。「ゴパタ」とさわいでいたが、私はとつてもうれしかった。

この学校週五日制の実施を機に将来の伊方町民のライフスタイルについて、また町づくりについて家族で話し合ってみてはどうでしょう。さて五日制最初の九月十二日、中之浜では老人クラブ主催による「おとしり」と子供魚つり大会」が行われました。この日は、晴天に恵まれ参加した水ヶ浦小学校の児童



昔ながらのつりを体験する子供たち

二年 谷口あきひろ

きょうは魚つりたい会があります。ぼくは、「ドキドキ」

六年 辻 朝照

たけざおで、さかなをつれば、むかしの子

口碑と立ちばなし

(仁田之浜)

徳頌翁吉善中田 氏



この間、県内は素より県外まで新規酒造場開拓に努め、幾多の子弟を養成し杜

仁田之浜の金比羅海運(有)事務所のすぐ隣に、田中善吉翁頌徳碑がある。道端にある大きな青石でそれとすぐわかる。「杜氏 田中善吉翁頌徳碑」の碑文は、西条市の大鏡酒造 二代主 塩崎辰一書によるもので、九十一歳の高翁とは思われぬ筆致である。略歴碑によると、翁は明治四十二年(一九〇九)一月十四日、伊方町仁田之浜、田中竹合副組合長、同三十七年西宇和郡杜氏組合長及び愛媛県杜氏組合連合会副会長に就任現在に至る。

この間、県内は素より県外まで新規酒造場開拓に努め、幾多の子弟を養成し杜

お国だより 直通便

「洗い場」の水に聴く

町内に、今でも使われている「洗い場」が数ヶ所あり、水の恩恵を受けている。

「洗い場」が数ヶ所あり、水の恩恵を受けている。お国だより 直通便 「洗い場」の水に聴く



洗い場

俳句クラブ

きそん節夜風に交す白扇子
精霊蜻蛉の群れて巧みにぶつからず
螢火や草むら深き散歩道
一天に雲なき正午終戦忌
朝露や垣根争ふかばちや蔓
盆とんぼ群るる日色となりけり
迷ふことなし曼珠沙華わつと咲く
大寺の涼しき通十九柱
病院の白き建物炎天に
山の暮海の露ふ合飲の花
威勢よく今日を限りの蟬時雨
咲く萩のはじらひ勝ちに遇す老

図書室 だより

夏休み総決算

今年の夏休みと比較してみると利用者数一〇八二名(三年度一三二九名)で減少して

図書室利用状況			
7月21日~8月29日 開室日数28日			
図書室	男女	人数	地区名
利用者総数	計	1082名	
地区別利用者数	大 浜	47	川 水 田 173
	中之浜	24	伊 方 越 4
	仁田之浜	60	亀 浦 17
	河 内	94	豊 之 浦 69
	湊 浦	441	九 町 9
	小中浦	22	二 見 18
中 浦	101	町 外 3	
貸出図書総数	1044冊		

10月・11月の行事予定

10月7日	ミセススクール(町公)
上旬	生活学校(中公)
上旬	ひまわりグループ学習会(町公)
10日	町民運動会(伊中)
中旬	紅梅学級(中公)
下旬	婦人学級(中公)
下旬	ふるさと講座(町公)
11月2・3日	伊方町文化祭(中公・町公)
7日	町同和教育研究大会(中公)



'92.10月

くらしのカレンダー

■……保 健 ★……衛 生 ○……そ の 他

11 月	
日	月 火 水 木 金 土
①	2 ③ 4 5 6 7
⑧	9 10 11 12 13 ⑭
⑮	16 17 18 19 20 21
⑳	㉑ ㉒ 24 25 26 27 ㉔
㉕	30

月日(曜)	行 事	月日(曜)	行 事
10月 1(木)	■リハビリ教室(13:00~15:30 保健センター)	17(土)	■母子健康手帳交付(9:00~11:00 保健センター)
2(金)	■厚生連検診(7:30~10:30 西・久保集会所)	18(日)	
3(土)	■母子健康手帳交付(9:00~11:00 保健センター) ○無料法律相談(10:00~15:00 町民会館)	19(月)	
4(日)		20(火)	■健康相談(10:00~11:30 二見公民館) ○人権相談(10:00~15:00 町民会館)
5(月)	■リハビリ訪問(13:30~15:30 大浜地区) ■三種混合予防接種①(13:30~14:00 九町診療所)	21(水)	■あじさいの会(13:00~15:30 保健センター) ○心配ごと相談(13:00~17:00 町見公民館)
6(火)	■高血圧予防教室(9:30~14:30 須賀集会所) ■オレンジハウス開所式(11:00~)	22(木)	■乳児健診(13:00~14:30 保健センター)
7(水)	○心配ごと相談(13:00~17:00 町民会館) ○行政相談(13:00~17:00 町民会館) ※弁護士さんが相談に応じます。	23(金)	○給食サービス(13:00~17:00 町民会館)
8(木)	■家庭看護教室(13:00~16:00 大浜集会所) ■健康相談(9:30~11:00 保健センター)	24(土)	役場土曜閉庁日 ※役場が休みになります。
9(金)	■リハビリ訪問 ■健康相談(9:30~11:30 川永田コミュニティセンター) (13:30~14:30 新川会館) ■三種混合予防接種①(13:30~14:30 保健センター)	25(日)	■健康と福祉のつどい(8:30~15:10 町民会館)
10(土)	体育の日	26(月)	
11(日)		27(火)	■リハビリ教室(13:30~15:30 ワークいっかた) ■健康教室(10:00~14:30 小中浦集会所) ○税の徴収(9:30~12:00 向公民館)
12(月)	■風疹予防接種(13:30~14:00 伊方中)	28(水)	○税の徴収(9:30~12:00 大成老人憩の家) (13:00~15:00 鳥津公民館)
13(火)		29(木)	■生ワク授与(13:30~14:00 九町診療所) ○税の徴収(9:30~12:00 二見公民館) (13:00~15:00 田之浦公民館)
14(水)	■栄養学級(9:30~13:00 鳥津集会所) ■風疹予防接種(13:30~14:00 町見中)	30(金)	■生ワク授与(13:30~14:30 保健センター) ○税の徴収(9:30~15:00 豊之浦集会所)
15(木)		31(土)	■母子健康手帳交付(9:00~11:00)保健センター)
16(金)	■リハビリ教室(13:00~15:30 保健センター) ○給食サービス(13:00~17:00 二見公民館) ★不用大回収日(役場・町見支所で受付)	11月 1(日)	

寝たきりゼロ作戦への参加を!

世界一の長寿国となった日本—誠に喜ばしいことです。その一方で老後の不安のひとつとして「寝たきり」が大きな問題となってきました。年をとったから、病気になったからといって必ず寝たきりになるわけではありません。常日頃から健康管理に気を配り、たとえ病をえても、適切なリハビリや介護によって予防することができます。寝たきりはお年寄りだけでなく、介護する人やその周囲の人々—私達みんなの問題です。

厚生省では「寝たきりにならないために、させないために」寝たきりゼロへの10ヵ条を提唱しています。

- 第1条：脳卒中と骨折予防 寝たきりゼロへの第一歩
- 第2条：寝たきりは寝かせきりから作られる 過度の安静逆効果
- 第3条：リハビリは早期開始が効果的 始めようベッドの上から訓練を
- 第4条：くらしの中でのリハビリは 食事と排泄、着替えから
- 第5条：朝起きてまずは着替えて身だしなみ 寝・食分けて生活にメリハリ
- 第6条：「手は出しすぎず目は離さず」が介護の基本 自立の気持ちを大切に
- 第7条：ベッドから移ろう移そう車いす 行動広げる機器の活用

第8条：手すりつけ段差をなくし住みやすく アイデア生かした住まいの改善

第9条：家庭でも社会でもよるこび見つけ みんなで防ごう閉じこもり

第10条：進んで利用機能訓練デイサービス 寝たきりなくす人の和、地域の輪

町内のあちこちで、「寝たきりゼロへの学習」をしていますが、つわぶき会(9月17日)では「寝たきりになりかけた時寝つかないよう、老人自身が努力せんといけん」ということや「介護者が老人をいたわりすぎてなんでもかんでも手を出しすぎることがいけん。ある時は鬼になってじっと我慢して見守ることも必要」ということがまず気づいたことでした。大浜の家庭看護教室(9月11日)では「ヘルパーさんの増員」や「農繁期にあずかってももらえる施設が欲しい」という切実な声が出ていました。「寝たきりゼロへの10ヵ条」で寝たきりを防ぎましょう。

